

2025 (令和7) 年1月19日 (日曜日) に開催された外国籍県民かながわ会議 (第13期・第1回) の議事録は次のとおり。

1 開会

事務局の自己紹介等を行った。

2 議題

(1) 前期委員長の講話

(柳 晴 実委員)

- 柳 晴 実と申します。12期の委員長をしていました。
- 私自身は9期と10期、1期休んで12期から継続して参加しています。そのときそのときでメンバーが違い、そのときのカラーがあって、とても楽しく会議をしています。
- 12期も2年間、皆でいろんなことを話し合いながら進めていきました。
- 特に県民会議は、神奈川県に私たちの意見を届けるのが大事な目的になっています。
- 皆さん、自分の回りにあるこういうことを変えたいとか、もっとこうしたいという気持ちでここにいらっしゃると思います。
- 今までの県民会議でもそうでしたが、それぞれ自分が思っていることを、まずは神奈川県の中ではどういう状況だろうか、というふうにみんなで一緒に考えたり、情報を集めたり、国際課の人に話を聞いたりしながら、神奈川県に意見を出すならどういう形にすればよいのだろうということを、このメンバーで相談しながら進めていくというようになるかと思えます。
- 去年は最初の会議の時に、勉強しながら進められたらいいですねという話をしたのを覚えています。私たちが考えた、いろいろな提言の案について、専門家に話を聞いたり、県の事業の担当者に話を聞いたり、現場で活動をしている人に話を聞きました。私たちだけのことでなく、現に活動している人や担当している人たちの話も聞きながら提言をまとめていったのが、12期の記憶として残っています。
- 昨年12月のあーすフェスタかながわでは、私たちが作った提言を資料として皆に配り、県民会議を皆に知らせていくこともできました。

- ・ 13期はこれから始まるので、このメンバーで何が出来るか、いろいろ皆で相談しながら、考えながら提言を作っていけたらよいです。楽しみにしているのです、よろしくお願いします。

(2) 委員自己紹介

各委員から、自己紹介及び外国籍県民かながわ会議の委員就任に当たったの所感などについて話があった。

(3) オリエンテーション

資料1に沿って、外国籍県民かながわ会議の概要、県の役割、県と市町村との違い、これまでの提言等について、事務局から説明した。

(4) 委員長・副委員長の選出

① 委員長の選出

委員長の立候補者はいなかった。モラレス ハイメ委員の提案により、経験のある前期委員より委員長を選出することとなり、委員経験者の中から検討が行われた。蔣 香梅委員による推薦を経て、柳 晴 実委員が委員長に選出された。

② 副委員長の選出

サンティステバン オオシロ マレナ ルイサ委員、モラレス ハイメ委員の2名が副委員長に立候補し、他の委員の承認により、副委員長に選出された。

(5) その他

(事務局)

- ・ 資料7として配布した提言構想メモについて、後日電子メールで送付するので、メールで示す期限までに御提出いただきたい旨、説明した。
- ・ 次回の会議日程など今後のスケジュールについては、委員長・副委員長と相談したうえで改めて連絡する旨、説明した。
- ・ 選任された委員の氏名、居住地の市町村または都道府県名、国籍、就任式の様子の写真、議事録として各委員の発言が県のホームページに掲載される旨説明し、了承を得た。